北海道運輸局 @mlit hokkaido より転載

北海道運輸局 @mlit hokkaido より転載

バス運転体験＆合同就職相談会を開催しました！

バス運転手確保へ体験会

釧路 釧根事業者 就職相談も

釧路・根室管内のバス事業者などは11日、路線バスの運転体験会と就職相談会を釧路市内の釧路運転免許試験場で開いた。運転手の確保が難しくなる中、約80人が運転席に座るなど、仕事への理解を深めた。

来年4月にトラック運転手の残業時間の規制が強化されるのに伴い、バス業界では運送会社との人材獲得競争が激化している。釧路バスの運転手の仕事に関心を高めてもらおうと、くしろバスや阿寒バス、根室交通の計5社が共同で企画した。

会場の外に路線バス3台が用意され、参加者はバス会社社員の指導を受けながら真剣な表情で運転席に座った。

路線バスの運転を体験する参加者（大島拓人撮影）

日頃は客と接する機会が少ない運転手の仕事を理解してもらうことを狙いとした。屋内には各バス会社のブースも設けられ、担当者から給与体系や労働時間などの説明を受けた。

特に市の会社員、高木今日天さん(27)は「運転が好きで仕事にしたい。地方の交通網の維持につなげたい」と話していた。（神田亮祐）

バス運転体験会に83人

釧根連携 人材確保へアピール

深刻な運転手不足に悩む釧路、根室のバス会社が11日、釧路運転免許試験場（釧路市大楽毛北1丁目）で開かれ、予約を上回る83人が来場した。このまま運転手不足が続けば地域の足が維持できなくなる恐れがあることから、バス会社では人材確保へ懸命のアピールを行っている。（荒井晃）

バス運転体験・合同就職相談会は4年ぶり3回目の開催。2019年に釧路で開いた第1回の来場者は49人、20年に中標津で開いた第2回は15人だったが、今回は午前10時の開場時に150人ほどが受付で列をつくった。運転体験は実際に3社が運行するバス1台ずつを使い、試験場のコースを一周するというもので延べ14人が参加した。定年を迎えるOBの姿もあったバス運転手を志望している釧路市の高橋崇行さん(30)は「普通車とタレントの感覚が違うが、視界が高いので良かったと感想を話していた。

合同就職相談会では各社がそれぞれブースを設け、仕事内容や労働条件、大型2種免許取得制度などを説明。40人が参加、転職を考えているという釧路市の在住会社員（42）は「もともと運転の仕事に興味があったので、運転手不足の話も聞いて来てみた。給料や休暇の話も聞けて良かった」と話していた。

バス業界では、運転手の高齢化や人材不足が加え、法改正で運転手の休憩時間確保などが義務とされる2024年問題への対応を迫られ、くしろバスでは10月のダイヤ改正で減便を実施している。同社の畑中正文参事は、特に、乗り切りバスのシーズンは運転手が足りなくなるとも話していた。

いが、高齢で退職する運転手も多く、その補充は難しい。少しでも質問につながってくれればと期待していた。

右：釧路新聞 令和5年11月12日
左：北海道新聞 令和5年11月12日

2023年11月11日(土)、釧路運転免許試験場にて「バス運転体験合同就職相談会」が開催されました。釧根地区での開催は今回が3回目。くしろバス、阿寒バス、根室交通がバスを持ち込み、相談ブースを用意しました。

連日バスの減便や運転手不足が報じられており、バス業界全体にややマイナスイメージを持たれているのではと心配していましたが、予想に反して大勢の方にお越しいただきました。就職相談ブースでは参加者の皆さんからの質問や疑問に対してバス会社の担当者がマンツーマンで説明。バス運転手という職業のいいところや悪いところを知っていただけるよい機会となりました。